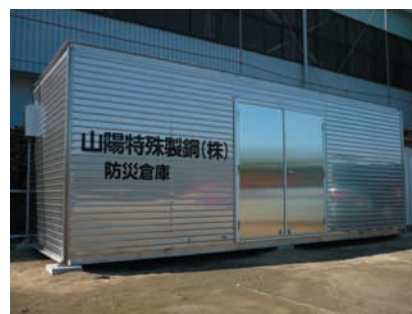


非常物資や備品の充実

大規模災害に備えるため、「防災倉庫」を設置しています。倉庫内には、テントやストーブ、非常食といった緊急物資を保管しています。

また震災時には、がれきの下敷きになるなど救助を呼ばなくてはならない場合が想定されます。そのため事務所および研究所勤務者を対象に、「緊急用ホイッスル」の配布を行っています。

製造現場勤務者は、常時携帯している玉掛け用ホイッスルが災害時の緊急用ホイッスルの役割を果たします。



防災倉庫



緊急用ホイッスル

小型消防車の導入

2009年6月、第二工場に小型消防車を導入しました。小型消防車は、従来の動力ポンプよりも放水能力が高く、初期消火に高い威力を発揮します。火災発生時には、初期消火での対応がその後の被害を左右することが多いため、素早く確実な消火活動が、これまで以上に期待できます。



危険物保安監督者・防火担当責任者研修会

当社では、毎年、危険物保安監督者研修会および防火担当責任者研修会を開催しています。2009年度の危険物保安監督者研修会では、東南海・南海地震および山崎断層帯地震が発生する確率と地震規模を改めて認識するとともに、地震発生時の対応と危険物施設の点検方法および処置方法等を再確認しました。

また、防火担当責任者研修会では、防火・防災に対する参加者の役割を再確認するとともに、夜間・休日に地震が発生した場合の対応や職場の棚・部品箱等の転倒・落下防止策をテーマに研修を実施しました。

Column

「消防団協力事業所」として地域防災に協力しています

地域防災活動の中核である消防団は、団員数が年々減少傾向にあるため、消防庁では「消防団協力事業所表示制度」を導入・推進しています。

この制度は、消防団協力事業所が勤務時間中の消防団活動への便宜や従業員の消防団への入団促進などを行うというもので、事業所の協力により地域防災体制の一層の充実を図ることができます。

当社は「消防団協力事業所」として姫路市から認定を受けています。

